

自然環境を守り、安心して暮らせる社会を創る

北陽建設株式会社

Hokuyo construction Co., Ltd



エコアクション21
認証番号0007075

環境経営レポート

From 2023/06/01 to 2024/05/31

Issue Date 2024/09/09



目 次

環境活動の対象組織・活動範囲	• • •	1
環境方針	• • •	4
環境目標《中長期目標》・環境活動計画	• • •	5
環境目標に対する実績	• • •	6
環境活動計画の取組結果とその評価	• • •	7
次年度の取組内容	• • •	10
環境活動の紹介	• • •	11
環境関連法規制等の遵守状況	• • •	13
代表者による全体評価と見直しの結果	• • •	15

環境活動の対象組織・活動範囲

組織の概要

1. 法人名及び代表者

法人名：北陽建設株式会社
代表者：代表取締役 原 滋俊

2. 所在地

〈EA21対象範囲事業所〉

《本社》

『本店』 〒398-0003 長野県大町市社5377
〔TEL〕 0261-22-1155 〔FAX〕 0261-22-9562
〔mail〕 info@hokuyo-net.co.jp
〔URL〕 http://www.hokuyo-net.co.jp

《営業所》

『長野営業所』	〒381-2215	長野県長野市稻里町中氷鉋493-2
『飯田営業所』	〒395-0803	長野県飯田市鼎下山491-3
『木曽営業所』	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島2822-1
『伊那営業所』	〒396-0012	長野県伊那市上新田2367-1
『佐久営業所』	〒384-0301	長野県佐久市臼田623-1
『岐阜営業所』	〒509-7201	岐阜県恵那市大井町2627-1
『浜松営業所』	〒434-0026	静岡県浜松市浜名区東美薦92
『静岡営業所』	〒425-0091	静岡県焼津市八楠1-26-2
『松本営業所』	〒390-0872	長野県松本市北深志2-1-18
『大町機材センター』	〒398-0003	長野県大町市社4682
『飯田機材センター』	〒395-0823	長野県飯田市松尾明7924-1

3. 環境管理責任者及び担当者

【環境管理責任者】 取締役 猪又 亘 [mail] w.inomata@hokuyo-net.co.jp
【事務局】 担当者 草深 安宏 [mail] y.kusabuka@hokuyo-net.co.jp

4. 事業内容

【設立】 1974年3月 【資本金】 8,000万円

【建設業】 国土交通大臣許可 (特・般-2) 第18572号
『特定建設業』 土木、とび・土工、石、ほ装、造園、水道施設
『一般建設業』 管、さく井

【測量業】 登録番号 登録第(9)-12874号

【地質調査業】 登録番号 質30第930号

【建設コンサルタント業】 登録番号 建31第4688号

登録部門 河川、砂防及び海岸・海洋、道路、農業土木、
森林土木、地質、土質及び基礎、建設環境

5.事業の規模

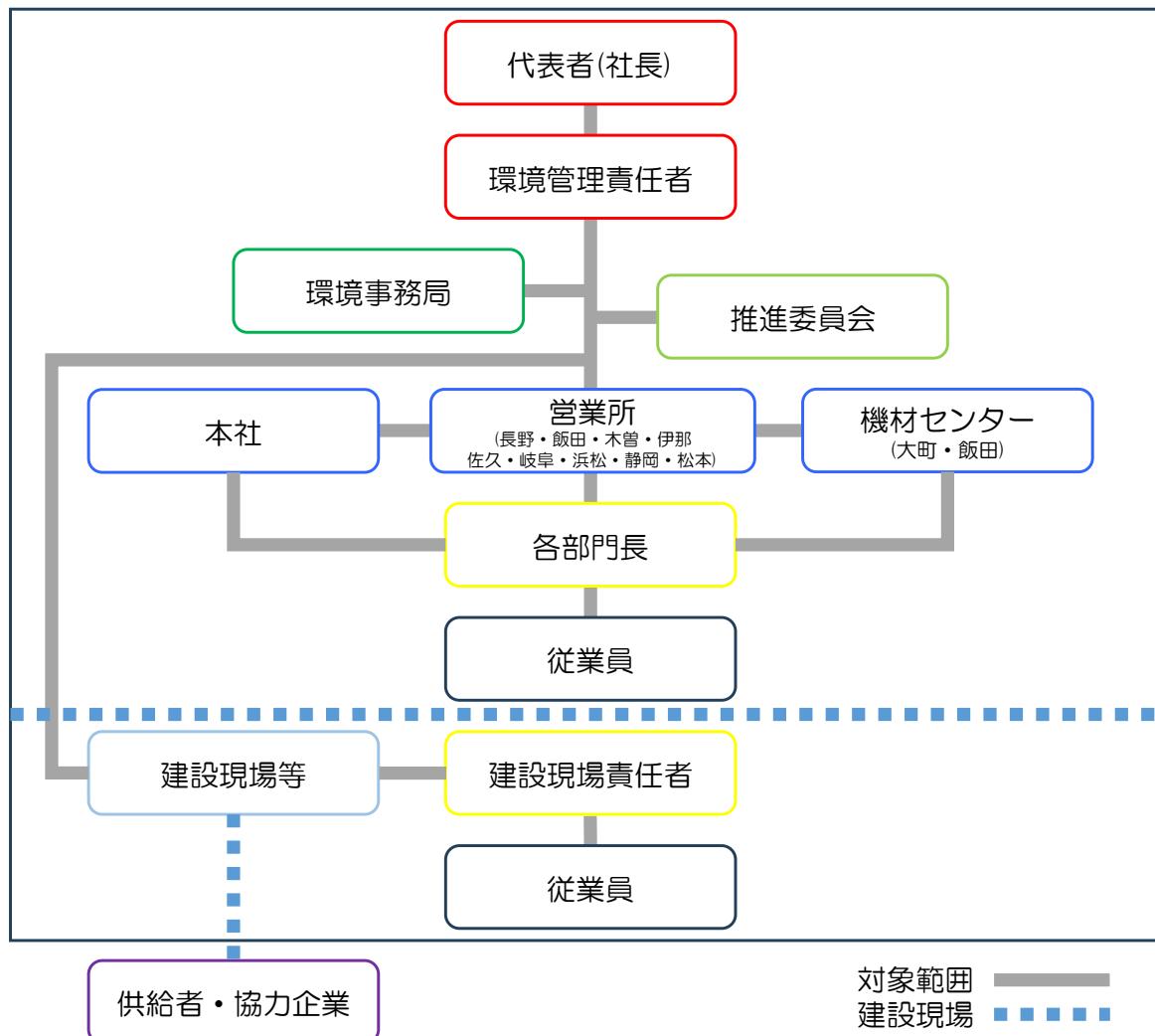
【完成工事高】 70億9879万円 (2023/06/01 ~ 2024/05/31)

【従業員数】 198名

6.事業施設

区分	施設名	就労数	床面積(m ²)	施設名	就労数	床面積(m ²)
EA21 対象範囲 事業所	本社	97	1,968.83	静岡営業所	7	253.91
	長野営業所	17	297.26	松本営業所	0	0
	飯田営業所	32	458.46	大町機材センター	9	129.42
	木曽営業所	6	128.66	飯田機材センター	3	54.61
	伊那営業所	7	416.15	大町機材センター	倉庫	3,065.06
	佐久営業所	6	282.36	飯田機材センター		540.00
	岐阜営業所	9	185.00	大町機材センター	資機材置場	3,785.85
	浜松営業所	5	196.65	飯田機材センター		1,279.79

7.認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）



組織担当者の役割

社長	<ul style="list-style-type: none"> a.環境経営に関する統括責任 b.環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間の準備 c.環境管理責任者の任命 d.環境方針の策定・見直し及び社員への周知 e.環境目標設定の承認 f.環境活動全体の評価と見直しの実施 g.環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> a.環境経営システムの構築、運用及び見直し管理 b.環境目標の設定 c.環境関連法規等の取りまとめ表の承認 d.環境活動計画書の確認と承認 e.環境活動の取組結果の報告 f.環境活動レポートの確認及び地域事務局への送付
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> a.社長、環境管理責任者、部門長、事務局が構成員 b.環境マネジメントシステム運用上の決議機関
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> a.環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 b.環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 c.環境関連法規等取りまとめ表／遵守評価記録の作成 d.環境活動計画書の作成 e.環境活動計画の実績集計 f.環境関連の外部コミュニケーションの窓口 g.環境活動レポートの作成 h.省エネルギー(二酸化炭素排出量削減)、節水、廃棄物排出量削減、グリーン購入推進について活動の推進 i.各活動の提案及び実行
各部門長	<ul style="list-style-type: none"> a.自部門における環境マネジメントシステムの実施担当者 b.自部門における環境方針と目標の周知 c.自部門における教育訓練の実施と記録の作成 d.自部門における環境活動計画の実施及び達成状況の報告 e.自部門における必要な手順書の作成及び運用管理 f.自部門における緊急事態への対応手順書作成、訓練、記録の作成
現場責任者 従業員	<ul style="list-style-type: none"> a.環境方針、目標の理解と環境への取り組みへの重要性の自覚 b.決められたことの順守と積極的に環境活動に取り組む c.作業所における環境活動計画の実施及び達成状況の報告(工事担当部門) d.作業所における必要な手順書の作成及び運用管理(工事担当部門) e.作業所における緊急事態への対応手順書作成、訓練、記録の作成(工事担当部門)

環境方針

■ 基本理念

北陽建設株式会社は、長野県を中心に、フォッサマグナとともに厳しい自然環境という複雑な地質構造で磨いた高い技術力を活かし、環境に配慮した設計・施工の普及に努力する。

《豊かな自然環境》《地域社会》と事業活動の隆盛を併立させ、事業活動が地球環境に配慮したかたちで、環境負荷を可能な限り低減させる。継続的改善に努め、エコアクション21環境経営システムを運用し、常に環境への取組を考え、自主的・積極的に行い、持続可能な循環型社会を実現する活動を全社員で取組んでまいります。

■ 基本方針

基本理念に基づき、以下の事項について取組んで行きます。

1. 環境に配慮した設計・施工の実践

各部門において環境配慮取組み目標3件以上。

2. 省資源・省エネルギーへの取組

建設資材の省資源および環境配慮機能を携えた資機材の利用、水資源の節水、コピー用紙の削減、グリーン購入

3. 廃棄物の削減・リサイクルの推進

事業活動で生じる廃棄物の3R『削減、再使用、再利用』に努める。

4. 二酸化炭素(CO₂)削減の取組

電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

5. 環境関連法規の順守

事業活動を行う上で当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、またその他要求事項を遵守する。

6. 環境啓発活動の推進

環境保全に関する啓蒙・啓発活動を実施するとともに、地域での社会貢献活動に努めます。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努め、環境関連規制や当社が約束したことを遵守します。

制定:2010年07月26日

改定:2015年06月01日

北陽建設株式会社

代表取締役 原 滌俊

環境目標《中長期目標》・環境活動計画

環境目標《中期目標》・環境活動計画

活動期間：2022/06～2024/05

項目	環境目標	環境活動
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	室内不在時、昼休時に消灯 効行
		パソコン・電気機器の未使用時には電源OFF
		冷暖房の適正温度厳守（室温目安：夏28°C、冬20°C）
		外気の適正取込み
		照明器具の定期的な清掃、交換を行う
	ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ
		エコ運転及び相乗りの実施
		法定速度厳守
	軽油使用量の削減	重機、機材への過剰な負荷の防止と定期自主検査を実施
		燃費の優れた建設機械の選択
		適切かつ効率的な運転に努める
資源の使用量削減	灯油使用量の削減	暖房の適正温度厳守（室温20°C）
		適度な使用、消し忘れを防ぐ
		サーキュレーター等の空調設備を利用する
	LPG使用量の削減	給湯器の適温利用
		夏季給湯利用の節約
	水道水の使用削減	水道栓の開閉をこまめに実施
		蛇口はきちんと締めて漏水の防止
	コピー用紙の削減	使用済み用紙の裏面再使用の徹底
		両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底、デジタル化
		文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止
廃棄物の3Rの促進	一般廃棄物の削減	分別の徹底
		帳票見直しによる印刷物の削減、デジタル化
		梱包材の再利用
	産業廃棄物の削減	素材別ボックスの設置
		リサイクル業者の開拓と利用
		作業ミスによる廃棄量の削減
		遊休資材の活用
環境配慮資材の購入	事務用品のグリーン購入	コスト面を考慮しながら、環境対応マークのついた文房具の購入を推進する
環境に配慮した設計・施工の実践	設計・施工時の提案・実施	緑化に考慮した設計・施工
		廃棄物を削減する設計・施工
		周辺環境への負荷を低減する設計・施工
環境啓発活動の推進	地域への貢献	河川美化活動への参加
		防災（自然災害）教育の実施
		砂防ボランティア活動

環境目標《中長期目標》・環境活動計画

3カ年の環境目標 ※直近過去3年間（2019年度～2021年度）の平均値を基準とし、2024年度までに2%の削減を目標とする。

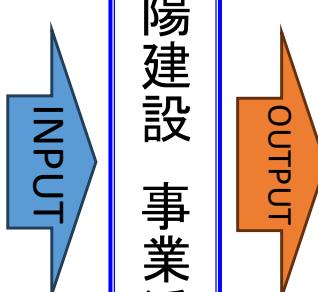
環境目標項目	単位	過去3年実績 平均値	2022年度 目標(1%減)	2023年度 目標(1.5%減)	2024年度 目標(2%減)
1. CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	150,472	148,967	148,214	147,462
2.電力	kWh/年	211,761	209,643	208,585	207,526
3.LPG	m ³ /年	720	713	709	706
4.灯油	ℓ/年	20,450	20,246	20,143	20,041
5.一般廃棄物	kg/年	806	798	794	790
6.産業廃棄物	t/年	531	526	523	520
7.水道水	m ³ /年	1,555	1,539	1,532	1,524
8.コピー用紙	t/年	3,410	3,376	3,359	3,342

環境目標に対する実績

2023年度（2023/06～2024/05）

事業活動マテリアルバランス

分類	排出量	
エネルギー	電力(kWh)	240,453
	LPG(m ³)	821.4
	灯油(ℓ)	21,152
原材料	上水道(m ³)	1,550
	モルタル(m ³)	1,524
	セメント(袋)	85,752
	砕石(m ³)	114
	砂(m ³)	4,687
	鋼材(t)	33,864
	紙(t)	3.37



北陽建設 事業活動

分類	排出量	
廃棄物	CO ₂ (kg - CO ₂ /kWh)	165,732
	一般廃棄物(t)	1.34
	資源リサイクル量(t)	4.73
	産業廃棄物(t)	396
	マテリアルリサイクル量(t)	349.6
	廃棄物合計(t)	397.3

CO ₂ 排出係数 電力 : 0.449 LPG : 3 × m ³ → kg 2.07 灯油 : 2.49

環境活動計画の取組結果とその評価

■ 年度削減目標と実績値の比較

環境目標項目	単位	当年削減目標	当年実績値	目標比	評価
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	148,214	165,732	11.8%	×
電力	kWh/年	208,585	240,453	15.3%	×
	kg-CO ₂ /年	93,655	107,963		
LPG	m ³ /年	709	821	15.8%	×
	kg-CO ₂ /年	4,403	5,101		
灯油	ℓ/年	20,143	21,152	5.0%	×
	kg-CO ₂ /年	50,156	52,668		

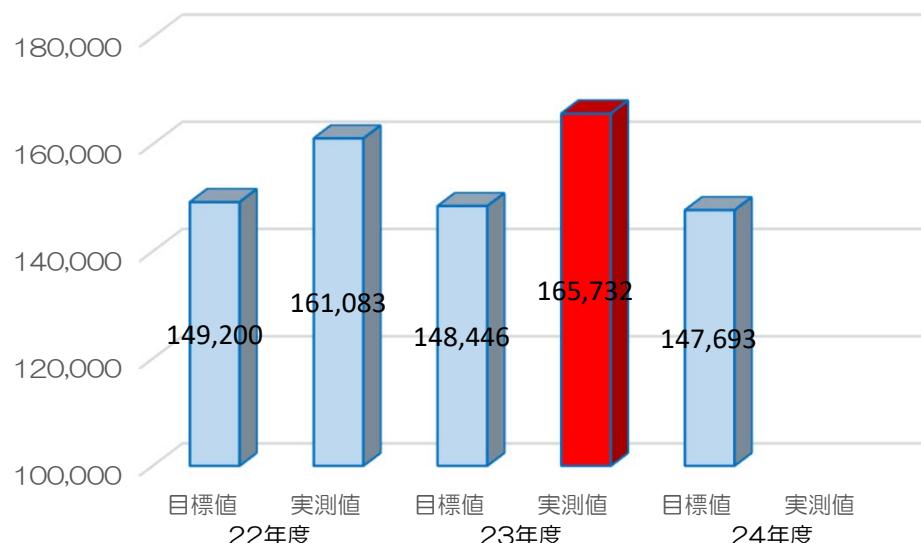
※目標比は各項目CO₂排出量と比較

一般廃棄物	kg/年	794	1,344	69.3%	×
産業廃棄物	t/年	523	396	-24.3%	○
水道水	m ³ /年	1,532	1,550	1.2%	×
コピー用紙	kg/年	3,359	3,371	0.4%	×

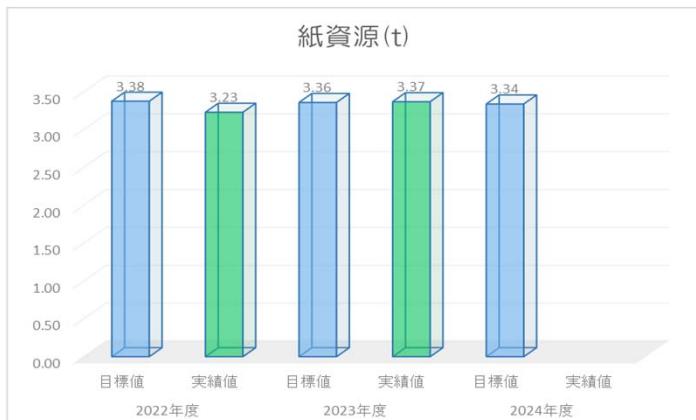
※実績値については小数点切上げ

(評価：達成○ 未達成×)

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)



目標数値に対して 11.6%増加



評価

電力は増加傾向がみられるが、太陽光発電設備を設置予定であるので、来期は改善が見込める。

LPGは暖房で使用している営業所があり、使用量が増加した。

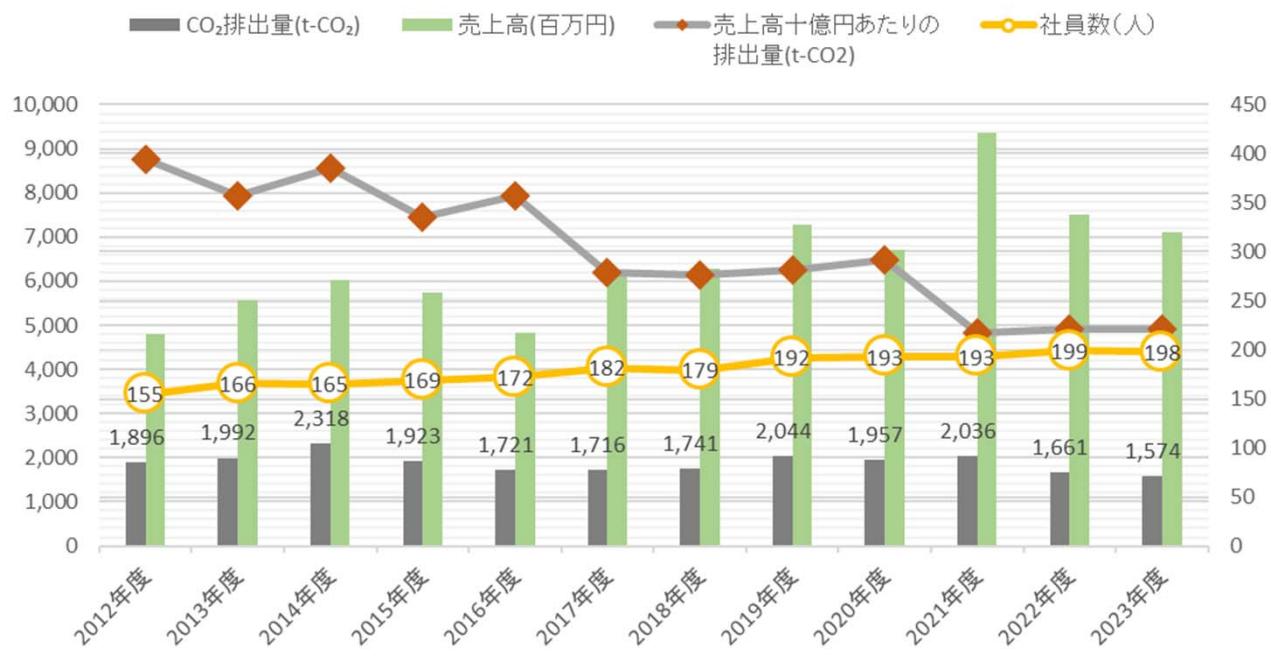
一般廃棄物は昨年より減少しているが今後も、省資源の意識を社内で共有していく。

売上高に対するCO₂排出量の比較

売上高 百万円当たりでのCO₂排出量を過去の実績から比較してみると、エコアクション21導入時と比べて約60%に抑えられている。

項目 \ 事業年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	2,318	1,923	1,721	1,716	1,741
売上高(百万円)	6,026	5,727	4,825	6,152	6,291
売上高十億円あたりの排出量(t-CO ₂)	385	336	357	279	277
社員数(人)	165	169	172	182	179
項目 \ 事業年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	2,044	1,957	2,036	1,661	1,574
売上高(百万円)	7,275	6,723	9,361	7,493	7,099
売上高十億円あたりの排出量(t-CO ₂)	281	291	217	222	223
社員数(人)	192	193	193	199	198

売上高に対する排出量の比較



CO₂排出量は、電力・ガソリン・軽油・LPG・灯油の合計値を使用

次年度の取組内容

次年度(24年度)の取り組み内容			
項目	基準数値 (19年～21年平均値)	目標値 基準年より-2.0%	達成手段
電力	211,761kWh	207,526kWh	<ul style="list-style-type: none"> ・室内不在時、昼休憩時に消灯励行 ・パソコン・電気機器の未使用時には電源オフ ・冷暖房の適正温度厳守（冷28℃ 暖20℃） ・外気の適正取込み ・照明器具の定期的な清掃、交換を行う
LPG	720m ³	706m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器の適温利用 ・夏季給湯利用の節約 ・暖房器具の適正温度厳守
灯油	20,450 ℥	20,041 ℥	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房の適正温度厳守（室温20℃） ・適度な使用、消し忘れを防ぐ ・サーキュレーター等の空調設備を利用する
一般廃棄物	806kg	790kg	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・PC画面上でのチェックによる印刷物の削減 ・梱包材の再利用
産業廃棄物	531t	520t	<ul style="list-style-type: none"> ・現場毎素材別ボックスを設置 ・リサイクル業者の利用 ・環境配慮型工法の選定 ・作業ミスによる廃棄量の削減 ・遊休資材の活用
水道水	1,555m ³	1,524m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・水道栓の開閉をこまめに実施 ・蛇口はきちんと閉めて漏水の防止
コピー用紙	3,410kg	3,342kg	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済み用紙の裏表再利用の徹底 ・両面印刷、複数ページ集約印刷の徹底 ・文書の電子化、印刷ミス・余剰の防止

環境活動の紹介

農具川河川愛護活動及び道路美化活動

毎年、本社近くを流れる【農具川】に生息する特定外来生物《アレチウリ》の駆除及び河川内のゴミ拾い、草刈りを行いました。



令和5年5月、8月実施

河川パトロールの実施



令和5年11月実施